

今回の探検コースは
約10km



とあらん
オススメスポット
自然がいっぱいの都会のオアシス
①「教育の森公園」

元は水戸黄門で知られる徳川光圀の弟、徳川頼元の屋敷跡で、旧東京教育大学（現在の筑波大学）の跡地に開園した公園。防災機能を持ち、緑豊かな敷地内は、区民の憩いの場になっている。

②「石川啄木終焉の地」
薄幸の天才歌人
明治44年、啄木と母そして妻の節子は本郷からここ小石川に移る。啄木も母も病身で、翌明治45年3月に母が亡くなり、4月には肺結核で啄木も生涯を終えた。

江戸大名庭園を代表する日本庭園
⑫「六義園」

1695年、5代将軍綱吉の側用人だった柳沢吉保が綱吉から賜った地に下屋敷を造り、そこに造営した庭園。江戸大名庭園の代表的なものとして国の特別名勝に指定されている。

③「小石川植物園」
日本最古の植物園
(東京大学大学院理学系研究科附属植物園)

江戸時代、5代将軍綱吉の別邸(白山御殿)だった場所。1684年に徳川幕府が小石川御薬園を設け、1723年園内に小石川養生所を創設。1877年には東京大学の附属となり、植物学の教育実習施設になった。

④「円乗寺 八百屋お七の墓」
文学や歌舞伎の題材になった

井原西鶴の「好色五人女」や、歌舞伎などで有名な八百屋お七の墓がある。恋人会いたさに付け火をし、放火の大罪で捕らえられたお七は、火あぶりの刑にされた。

ファールルの足跡をたどる昆虫館
⑪「ファールル昆虫館 「虫の詩人の館」

ファールルと南フランスの自然と文化を紹介する昆虫館。(土・日13時開館)地下にはサン・レオン村のファールル生家内部を再現。1階はファールルや昆虫、自然に関するものを展示。

⑩「高村光太郎旧居跡」
妻・智恵子とここで生活
詩人彫刻家として活躍した高村光太郎が、大正元年から昭和20年まで住んだ場所。ここで詩「道程」「智恵子抄」「智恵子」が生まれ、昭和20年、住居は空襲で焼失。

⑤「夏目漱石旧居跡」(猫の家)
「我輩は猫である」「坊ちゃん」「草枕」を執筆した場所

イギリスから帰国後の明治36年から39年間住んだ場所。ここで、処女作「我輩は猫である」を執筆し、旧居は作品の舞台となった。家屋は愛知県犬山市の「明治村」に移築。碑文の題字は川端康成。

徳川家ゆかりの地と明治の文豪を訪ねる 緑豊かな文化と歴史の街

今回の探検は、大塚駅前をスタートして、文京区小石川、千駄木、本駒込を歩く、文豪ゆかりの地と江戸時代の史跡を巡る文学と歴史散策コースです。まだまだ暑い季節ですが無理をせず、十分休憩をとり、石川啄木、夏目漱石、森鷗外などの文豪が住んだ町並みや、徳川家ゆかりの史跡をゆっくり歩いてみましょう。いざ、出発進行!

小石川
千駄木
本駒込

⑨「文京区立森鷗外記念館」(観潮楼跡)
「青年」「雁」など名作を執筆した場所
文豪森鷗外が、半生を過ごした旧居・観潮楼の跡地。2階から東京湾が臨めたことからこの名がついた。2012年、「文京区立森鷗外記念館」として開館。自筆の原稿や書簡などを展示。

⑧「あめ細工 吉原」
日本で初めての日本伝統飴細工専門店
日本伝統の飴細工をたくさんの方々に知ってもらいたいと5年前に開店。目の前でオリジナル飴細工キャラのあめびよんなどを作る実演販売(945円〜)も行なっている。
☎03-6323-3319

⑥「根津神社」
春、境内にはつじが咲き誇る
6代将軍家宣が生まれた地。根津神社はその産土神(守り神)となり、1706年に綱吉によつて現在の地に社殿が造営。権現造りの見事な姿を残す建築で、国の重要文化財に指定。

⑦「秘密基地nanaco」
大きなりボンが目印
今年3月にオープン。店内には、懐かしい魔法瓶や花柄のホーロー鍋などの昭和レトロポップな雑貨がスラリ!懐かしい駄菓子も販売。大人も子どもも注目の雑貨屋さん。
☎03-6319-4806

●このパンフレットのデータは2013年8月現在のものです。●施設によっては入館料がかかる場所もあります。●ウォーク中のケガ・事故等については責任を負いかねます。